



デジタルサイネージと放送を連携！ —「夏サカス 2012～笑顔の扉～」にて初運用—

TBS テレビでは、赤坂サカスエリアで開催する「夏サカス 2012～笑顔の扉～」(7月21日～9月2日)において、放送と通信をミックスした“デジタル放送サイネージサービス”を実施いたします。

これは、IP 通信を用いて遠隔地の表示端末にコンテンツを流す「デジタルサイネージ」と、電波の空き帯域を利用して地域に放送を行なう「地上デジタル・エリア放送」を組み合わせたもので、世界でも初めての取り組みです。

デジタルサイネージの端末にエリア放送用の送信機を接続し、放送電波として周辺地域にコンテンツを送出します。これにより市販のテレビやワンセグ対応端末をデジタルサイネージ表示端末として使用することができます。多地点に表示端末を設置するような大規模システムの構築が安価に実現でき、将来のサイネージビジネスを拡大する可能性を秘めています。

この方式を用いれば、平常時は設置場所に合わせたコンテンツを通信回線で配信していても、大災害や停電時に通信が遮断された場合は、エリア放送用の送信機の側で切り替えを行い、周辺の人々に一斉同報で必要な情報を伝えることができます。

放送と通信をミックスしたこの伝送方法は、昨年施行された新しい放送法等で規定された「放送・通信両用免許」を利用した新しいサービスへ展開できる可能性もあります。「夏サカス 2012～笑顔の扉～」では、「TBS こどもアナウンス教室」で運用します。ワンセグ対応の携帯電話をお持ちになり、是非ご体験ください。

以上